

奥秩父縦走報告

2009年1月4日(日)ー9日(金)

メンバー：後藤博志 (M2)

只左一也 (M2)

1日目：塩山駅→(タクシー)→新地平→雁峠→
雁坂小屋 (幕営)

2日目：雁坂峠→甲武信小屋 (冬期小屋泊)

3日目：甲武信小屋→国師ヶ岳→大弛 (幕営)

4日目：大弛→金峰山→大日小屋 (幕営)

5日目：大日小屋→瑞牆山→大日小屋→大日岩
→八丁平→小川山南尾根の2270m 地点(小川山から1.5km 地点) (幕営)

6日目：幕営地→小川山→廻目平→川端下バス
停→(バス) →小海線信濃川上駅

2日目 (1月5日(月))

起床	06:30	
雁坂小屋		09:30 発
雁坂峠	09:50 着	10:15 発
雁坂嶺	10:55 着	11:25 発
東波風山	12:55 着	13:25 発
西波風山	13:55 着	
波風山避難小屋	14:20 着	14:50 発
木賊山	16:55 着	
甲武信小屋	17:15 着	(冬期小屋泊)
(歩行時間：5時間30分)		



二人とも前日の疲れがひどかったため、寝坊したうえに準備に手間取り、出発が遅くなってしまった。



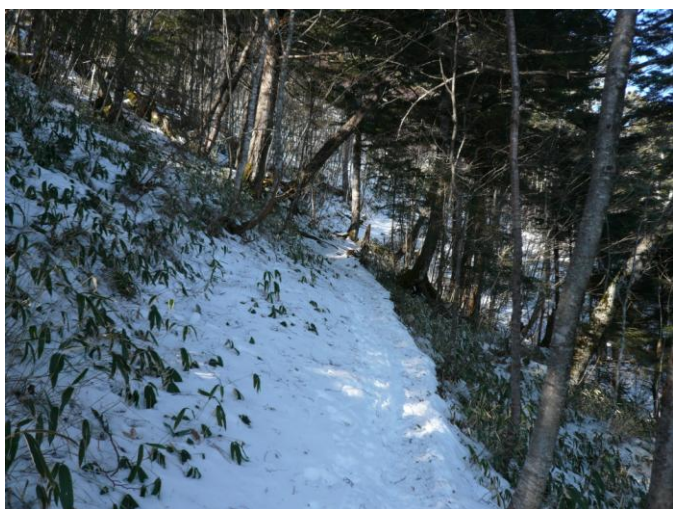
雁坂小屋のテン場一帯は気持ちの良いところ



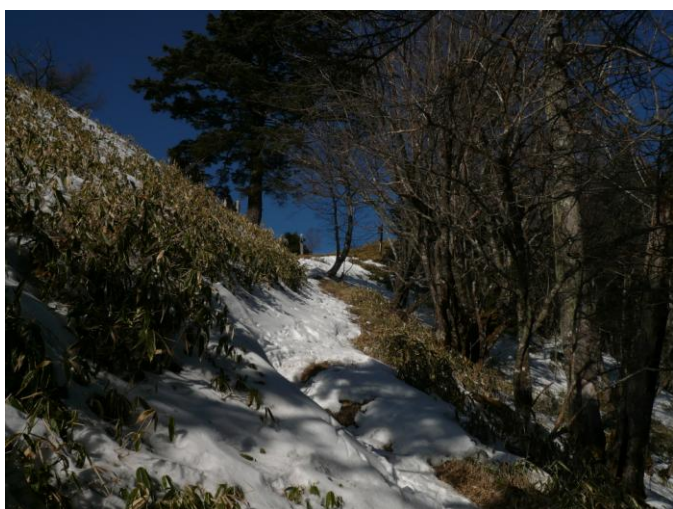
雁坂小屋



雁坂峠を目指す。この朝も好い天気。



雁坂峠に到着



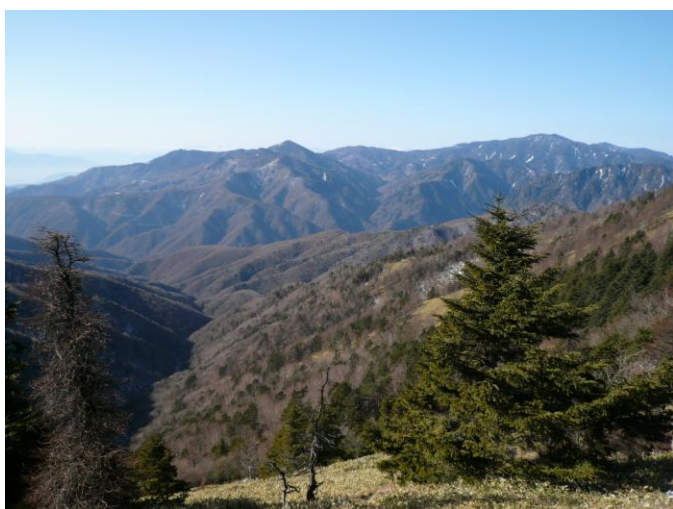
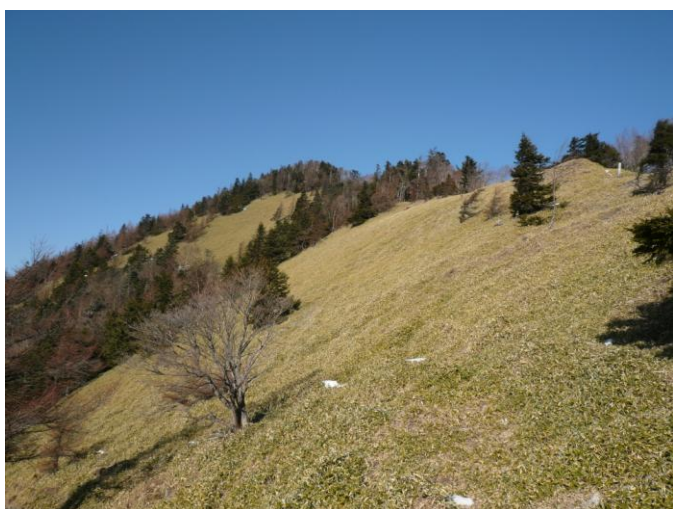
雁坂峠は目の前



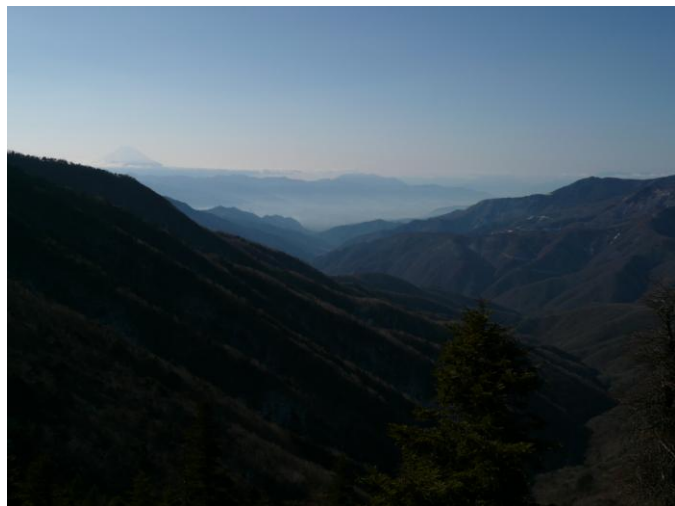
日本武尊が越えたと日本書紀に書かれている雁坂峠。
日本三大峠の一つ。



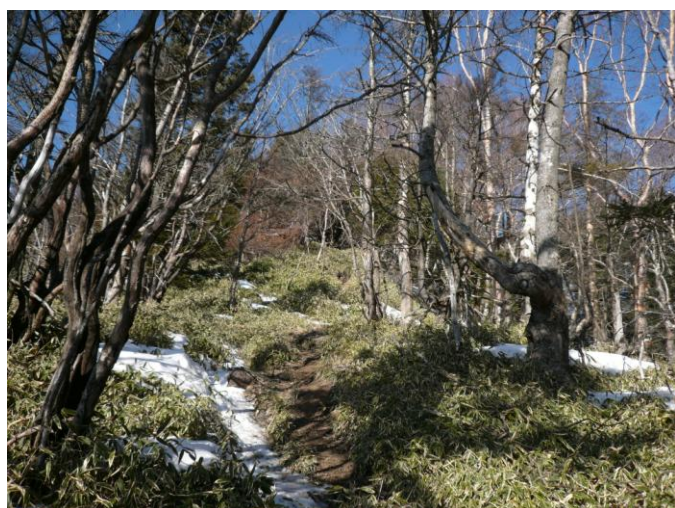
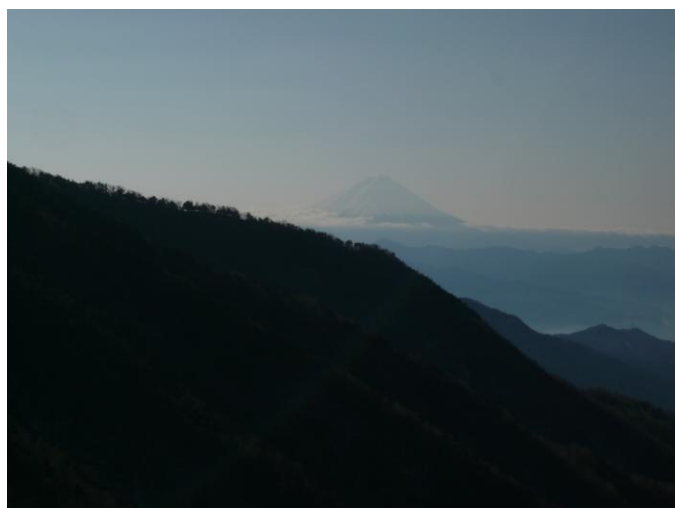
雁坂峠周辺は大変気持ちの良い明るい笹原で、のんびりしたくなる場所。景色を眺めながら休憩していると、雁坂小屋に泊まっていた人が登って来た。この人が、この山行で最後に出会った人となった。



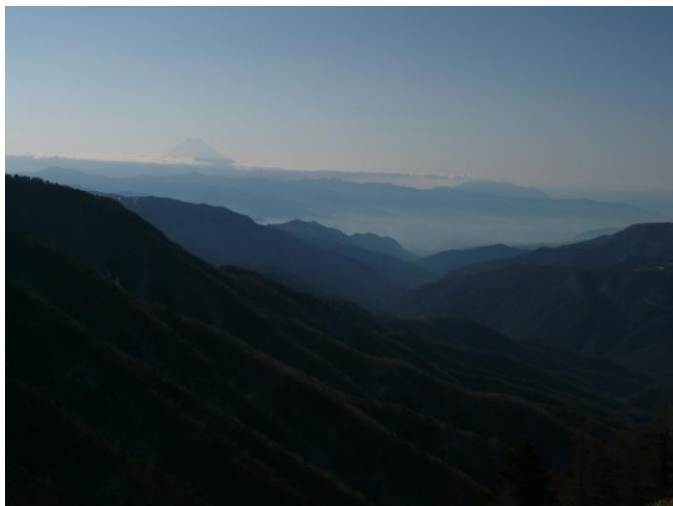
南東の眺め。右の一番高い山が、奥秩父の最高峰の北奥千丈岳(2601m)。中央やや左は黒金山。



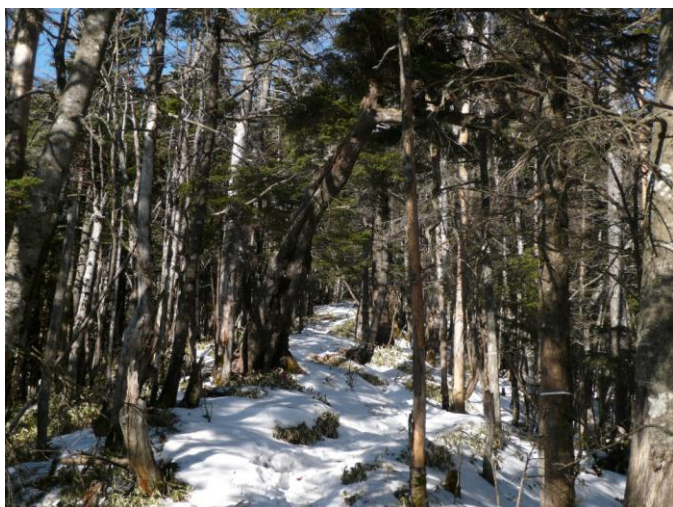
この日も天気は良かったが、南の方角は霞がかかっていた。



雁坂峠を出発。甲武信ヶ岳方面へ樹林帯の中を進む。



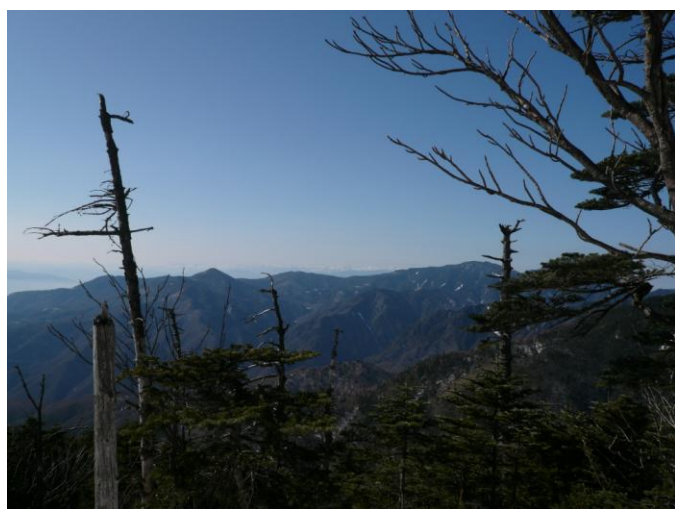
ようやく雪で完全に覆われた道となった。それでも15cmほど。



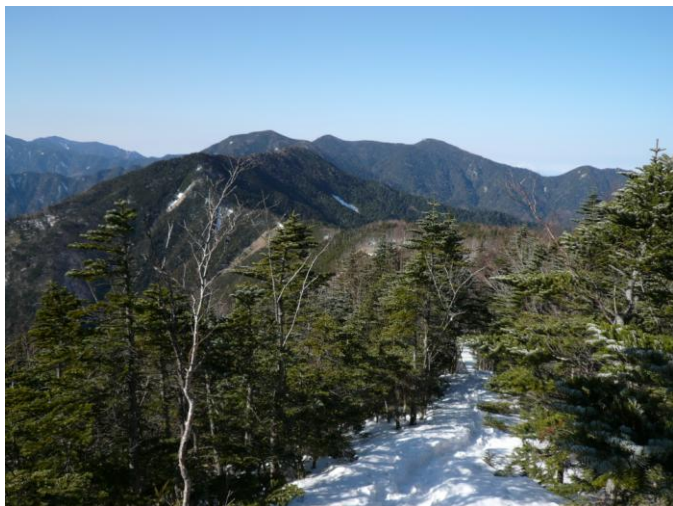
登るにつれて少しずつ雪が多くなってきた



雁坂嶺山頂 (2289m)



雁坂嶺山頂は樹林に覆われていて見晴らしはあまり良くない。



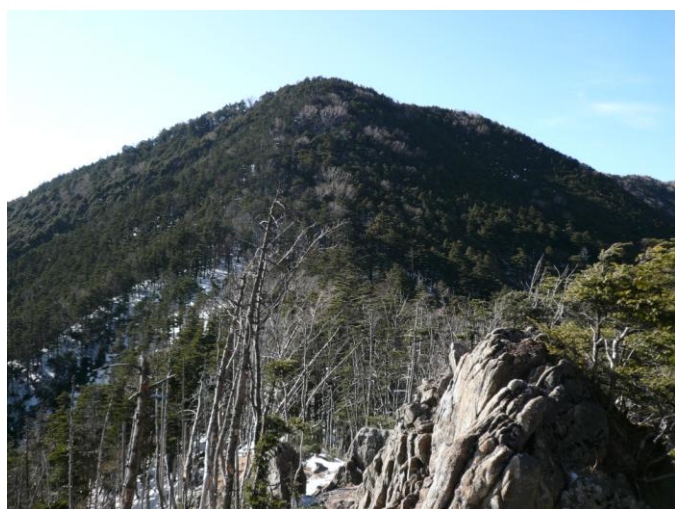
西を目指して甲武信ヶ岳へ続く稜線を進む。中央のちよつと飛び出しているのが甲武信ヶ岳、その右が三宝山、左が木賊山。

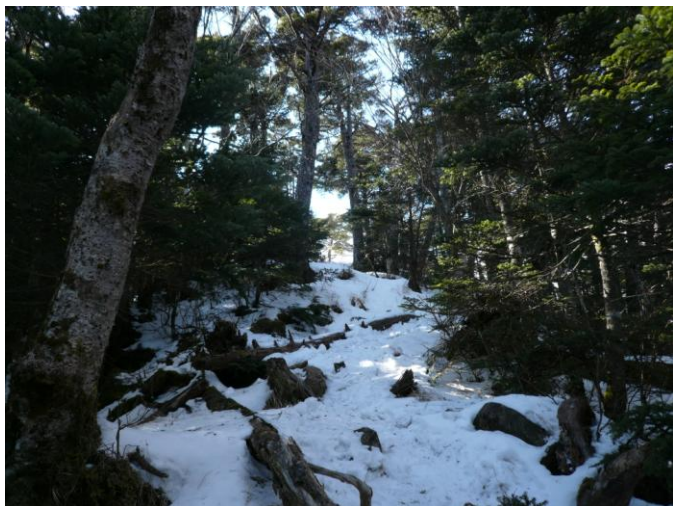


東波風山に近づくと、岩が多くなってきた

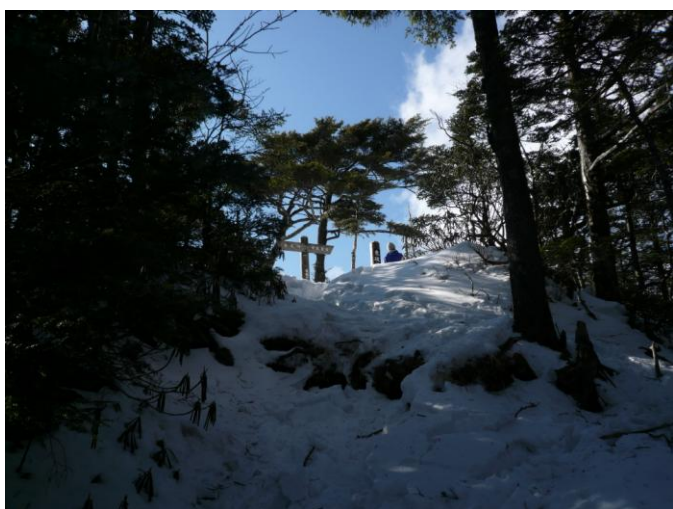


立ち枯れの樹林帯

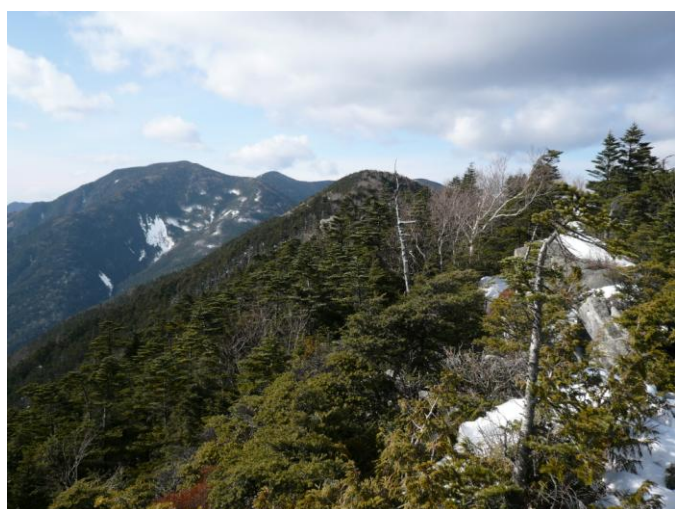




東波風山でアイゼンをつけ、西へ進む



東波風山山頂はもうすぐ



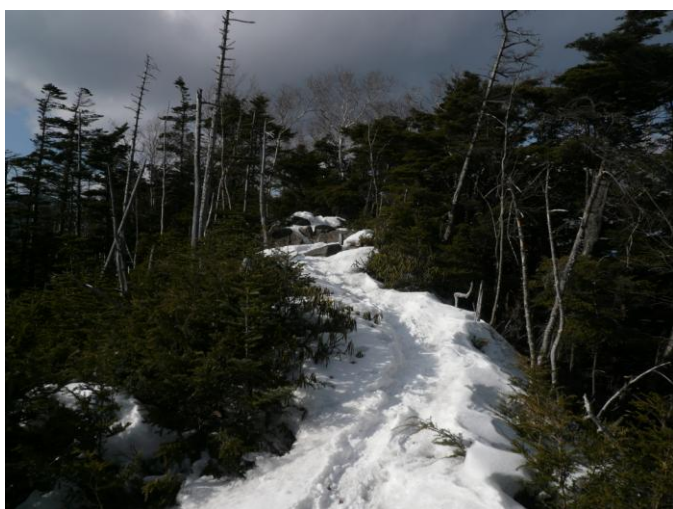
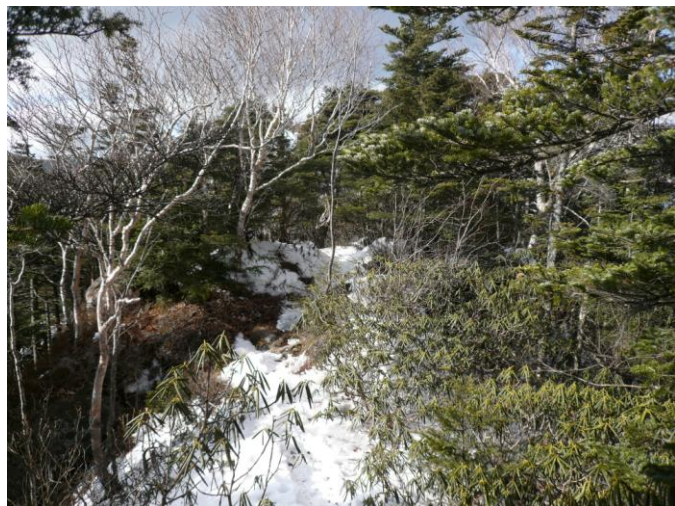
雲が多くなってきた。左は木賊山（とくさやま）。



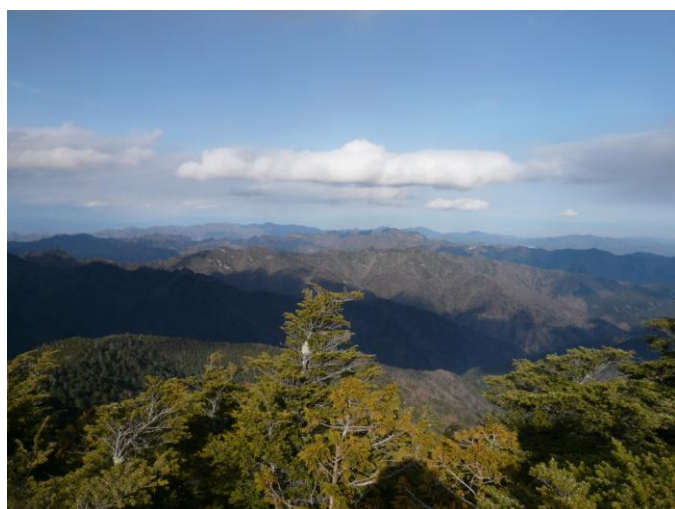
東波風山山頂



眼下に出発地点の広瀬湖が広がる。



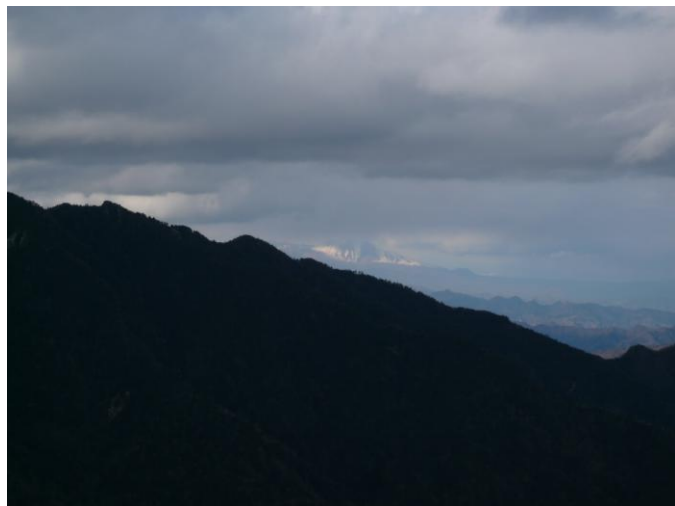
西波風山を目指す（正面のこんもりした山）



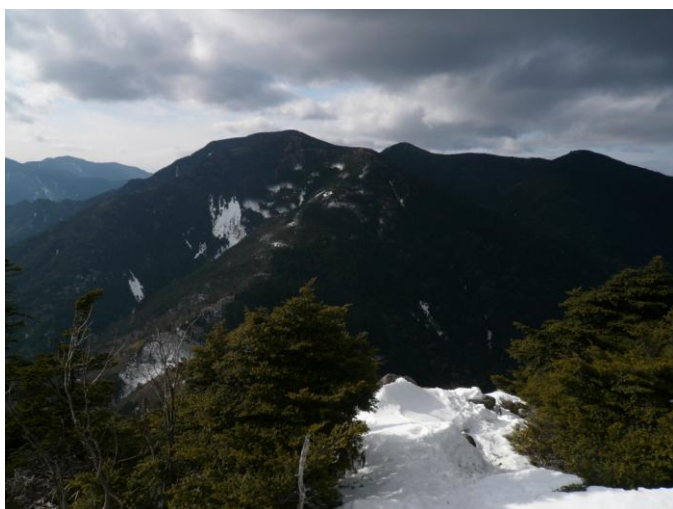
北の方角が開けている場所があった。この稜線は南が開けているところは多いが、北に開けている場所はほとんどない。



西波風山山頂(2318m)に到着。時刻はすでに2時。



浅間山



この日の目的地、甲武信小屋は正面の木賊山(中央やや左)の向こう。



西波風山から急坂を下る



西波風山と木賊山のための鞍部にある波風山避難小屋。



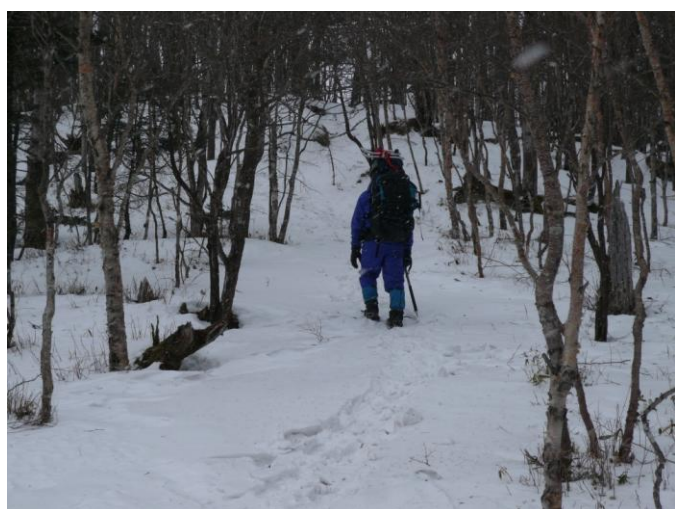
広いのだが、窓がないので戸を閉めると真っ暗になってしまう。



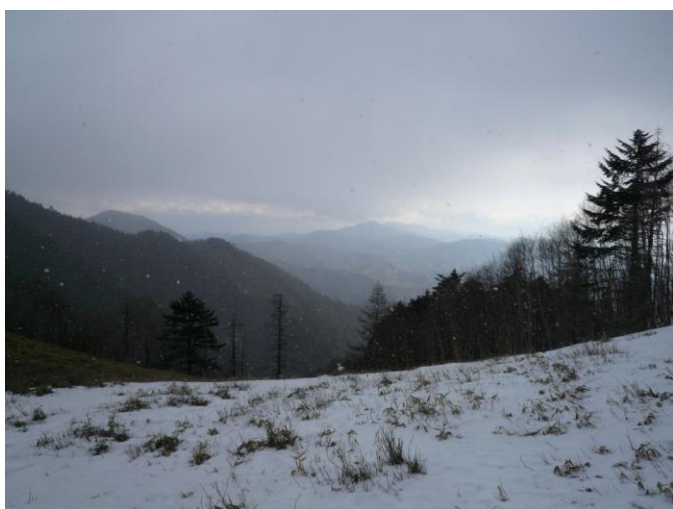
西波風山を振り返る



小屋の前で休憩していると、雪がちらつき始めた。



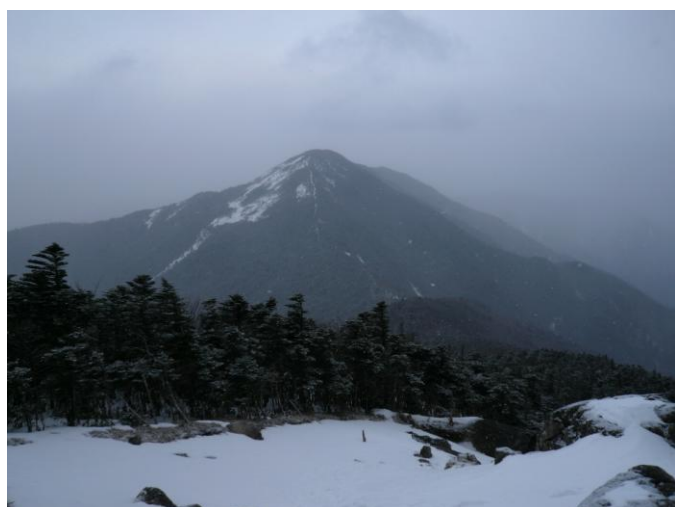
小屋を出発。ここから木賊山まで 400m 弱の登り。



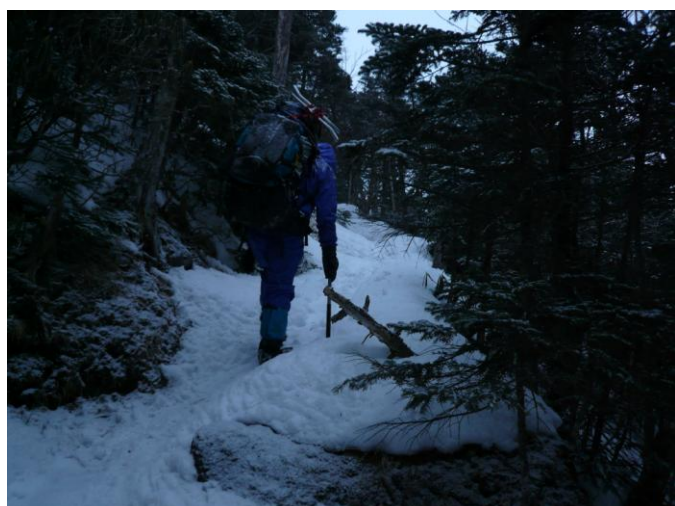
空は雲に覆われ、まだ 2 時半だというのに暗い



さらに雪が深くなってきた。深いところで 30cm ほど。



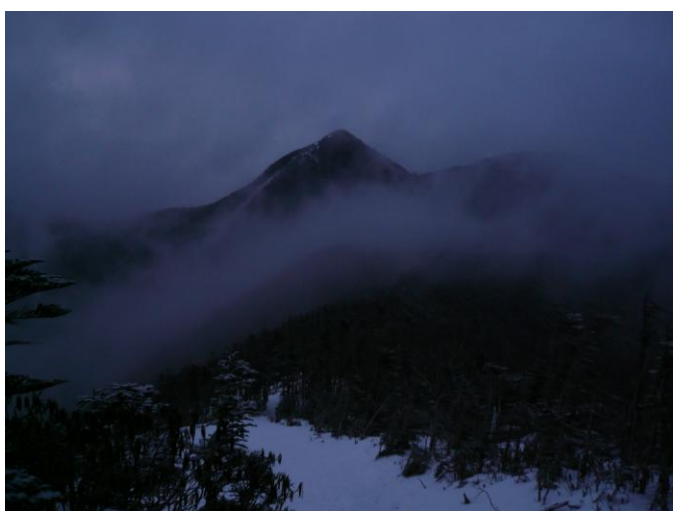
西波風山



前日の疲労が抜けない身体に荷物の重さが応え、木賊山の登りは苦しかった。



夕方5時、ようやく木賊山山頂(2469m)に到着。



薄暗い中、雲の切れ目から顔をのぞかせる甲武信ヶ岳



やっと目的地の甲武信小屋に到着。小屋の人たちはこの日下山してしまい、無人だった。冬期小屋は有料と思っていたが、どうやら無料で開放しているようだったので、有り難く使わせていただいた。